

星花きらめく



平成 30 年 5 月 1 日 (火)

長野市立裾花中学校

NO. 1

214名の新たな仲間たち ようこそ裾花中へ！

今年は例年よりも暖かい日が続き、桜が満開に咲く中での入学式となりました。4月5日(木)、214名の一年生を迎え、全校生徒697名、教職員57名で平成30年度がスタートしました。

第60回入学式では、42名の来賓の皆様にご臨席いただきご光彩を添えていただきました。この新たな出会い・出発を祝福し、一年生の皆さんが3つの学校目標「敬愛・自律・丹精」を大切にすることによって、「自分の良さをさらに伸ばし、仲間とつながり、楽しい学校生活を送ること」を期待しています。皆さんの成長のために職員一同、心新たに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

新たに17名の先生方をお迎えしましたので、紹介します。



～ 入学式の様子 ～

◇ 裾花中学校 学校教育目標

- ・敬愛：深い思いやりを持って自他を大切にする生徒
- ・自律：自分の生活を見つめ、よりよく生きようとする生徒
- ・丹精：課題を持って学び、自分を磨き鍛える生徒

保護者の皆様や地域の皆様との連携のもと、ご支援・ご協力をいただきながら、共々にたくましく実践力のある生徒の姿を願い、支援していくことができると考えております。どうかよろしくお願いいたします

☆ 平成 30 年度の重点活動

- 重点1 【学力】 生徒が自分の進路を切り拓くことができる学力を身につかせます
- 重点2 【部活】 好きなスポーツや文化活動に親しませ、望ましい人間関係の形成や個性の伸長に努めます
- 重点3 【信頼】 生徒・保護者としっかり向き合って信頼関係を築きます
- 重点4 【生活】 落ち着きのある「安全・安心な学校」を目指します

「有難う」と心から言える充実した一学期にしよう（1学期始業式 校長講話より）

今日は、「こんな裾花中学校になればいいな」という、私の願いを話します。それは、「一学期、感謝の気持ちが一杯になればいいな」ということです。

言葉について考えてみます。言葉の中で、私が力を持っていると思うのは「有難う」という言葉です。「有難う」というのは、「有難い」、「ある事が滅多にない」という意味です。本当の「有難う」の意味は、私はもっと深いところにあるような気がします。

「有難う」、「有難い」という言葉は、「有難くない」の反対です。「有難くない」ということがわかっていないと、「有難い」ということがどういうことかわからない、とも言えます。「有難くない」ということを味わうことが、「有難い」ことがわかることにもなります。

「有難くない」こととは何でしょう。悲しいこと、辛いこと、嫌なことであり、できれば避けて通りたいと思うものです。味わいたくないと思うのが普通です。しかし、「有難くない」ということは、誰にもあることです。「有難くない」ことがたくさんあったり、深かったり、そういう経験をたくさんした人ほど、「有難くない」ことがよくわかり、本当の「有難い」こともわかるのです。毎日いいことばかりだったら、本当にいいことが分からない。苦しい、悲しい思いをして、本当にいいことが分かる。

人は、うまくいかず、「ついていないなあ」と思うときは、「有難う」という言葉は言えなくなります。さらに、いいことが「当たり前だ」と思っていると、なおさら、「有難う」という言葉は使わなくなります。そして、そのことに気づかず、うまくいかないことの責任を、周りの人に押しつけ、責めてしまう。そういうことはないでしょうか。「あの人がいけないんだ。全然、私のところを認めてくれないから。」「私は全然悪くない。」そう思い、「有難う」という気持ちが自分の中に、全然無いことに気が付かない。今の悪い状況、状態を作り出しているのが、誰でもない、自分自身であるということに気づかず、全て人のせいにしてしまっている。そういうことはないでしょうか。

皆さん、この一学期、積極的にこの、「有難う」という言葉を発してみてください。特に、「当たり前だ」と思っていることに、積極的に使ってみてください。授業中、話し合っている時に、「あっ、そういうことか。わかった。有難う。」「質問してもらったお陰で、よく理解していなかったことに気が付いたよ。有難う。」休み時間、教科の係として準備をしている時に、「一緒に運んでくれて、有難う。」清掃が終わった時に、「ここの汚れが気になっていたんだ。きれいにしてくれて、有難う。」等々。皆さんが学校生活を送っている中には、「有難う」と言う機会は沢山あると思います。

「ちょっとあの人が苦手だな。」という人に、「有難う」と言うのは、ひょっとしたら勇気がいることかもしれない。しかし、「有難う」を口にするによって、何かが大きく変わるはず。相手が変わります。そして、何より自分自身が大きく変わることに気が付きます。このことについては、また、別の機会に話したいと思います。全てのことへ感謝して、「有難う」と心から言える充実した一学期になるよう、頑張ってください。

【お願い】本校では、登下校に関わる自家用車等での生徒の送迎につきまして、正門ではなく東門を利用するようにお願いしています。ご協力ありがとうございます。天候によっては、学校周辺の道路が混雑し、地域住民の方の生活に支障を生ずる事があります。学校から離れた安全の確保できる場所での乗降など、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

長野市教育委員会からのお願い ～パブリックコメントについて～

市では「活力ある学校づくり検討委員会」を設置し、子どもの育ちや学びの質を大切にされた発達段階に応じた豊かな学びの場の在り方などの検討を重ねてまいりました。

このたび、少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方について(審議のまとめ案)がまとまりましたので、市民の皆様からのご意見・ご提案を募集いたします。

※募集期間 平成30年4月16日(月)から5月21日(月)まで 当日消印有効

※審議のまとめ案の閲覧場所、意見・提案の提出方法等詳しくは、市ホームページ、または広報ながの5月号をご覧ください。

※問い合わせ先 長野市教育委員会事務局学校教育課 小中高連携推進室 電話 224-5097

セクハラや生徒に関わる相談窓口は

小山きよみ（養護教諭）
森川 美弥（養護助教諭）
黒沢 浩二（教務主任） です

長野市立 裾花中学校
文責 山口 近（教頭）

電話：026(226)1804

FAX：026(226)1881

電子メール susobanajh@nagano-ngn.ed.jp

HP：<http://www.nagano-ngn.ed.jp/susobana>

